

だいせん市議会だより

# あなたのギカイ

令和7年5月1日 第80号 3月定例会の内容を分かりやすくお伝えします。

起立採決により  
賛否を表明

## CONTENTS

- 市政懇談会を開催します……………P 2
- こんなことが決まりました……………P 4
- 聞いてみたいなこんなこと……………P 8
- 行政視察報告……………P 13
- きかせて！あなたのミライ……………P 14

会場：令和7年第1回定例会  
(大曲庁舎本会議場 3月14日)

# 市政懇談会を開催します

市民の皆さまと市議会議員が自由に意見交換する市政懇談会を、次の日程で開催します。

「より開かれた議会」を目指し、市政の諸課題に柔軟に対処するため、市政全般にわたっての情報および意見交換や議会の活動状況を報告します。どちらの会場でもご参加いただけますので、多くの皆さまのご参加をお待ちしています。

最新の情報は  
ホームページで  
ご確認ください!



【お問い合わせ】議会事務局 TEL 63-1111(内線303)

開催日	会場	時間
6月21日(土)	花火伝統文化継承資料館 はなび・アム(大曲大町7-19) ※ワールドカフェ方式【先着15名・申し込み制】	午後6時30分～
6月23日(月)	協和支所(協和境字野田4)	午前10時～
	大綱交流館(刈和野字愛宕下24-1)	午後1時30分～
6月24日(火)	花館公民館(花館上町5-19)	午前10時～
	大川西根公民館(大曲西根字小館10)	午後1時30分～
6月25日(水)	中仙農村環境改善センター(北長野字茶畑108)	午前10時～
	藤木公民館(藤木字乙本藤木8)	午後1時30分～
6月26日(木)	さくまろ館(高梨字田茂木10)	午前10時～
	おおたコミュニティプラザ(太田町横沢字窪関南501)	午後1時30分～
6月27日(金)	南外コミュニティセンター(南外字下袋218)	午前10時～
	神岡農村環境改善センター(神宮寺字下川原前開100)	午後1時30分～

## ワールドカフェ方式とは



ワールドカフェ方式とは、カフェでくつろいでいるようなリラックスした雰囲気の中で、対話を通して自由に意見を出し合い、お互いを理解し合いながら、より深い議論を引き出す手法です。

### 【主な特徴】

- ・カフェのようなリラックスした雰囲気を重視し、テーマに沿った対話を行います。
- ・相手の意見を否定せず、尊重し合いながら、自分の意見を伝えることにより、お互いの関係性の質を高めます。
- ・小グループでの対話を繰り返して、多くの知恵や考えを集め、新たな気付きや共通理解を生みます。
- ・さまざまな視点を取り入れることで、創造的な発想や合意形成を促進します。

聞かせてください あなたの意見

6/21<sup>±</sup>  
18:30~

# 「ワールドカフェ」 in はなび・アム

6月21日の市政懇談会は、より幅広い世代の皆さまから多くのご意見をお伺いするため、ワールドカフェ方式で開催します。

市議会議員も含めた5~6人程度のグループに分かれ、カフェのようなくつろいだ雰囲気の中で、テーマに沿って話し合いをします。

大仙市の未来について、たくさんのご意見をお聞かせください！

- ・リラックスしながら対話を楽しみましょう。
- ・子育て世代のご意見をぜひ聞かせてください。



## 話し合うテーマ

### 防 災



### 子育て支援



### 観光・地域活性化



全員が全てのテーマについて意見交換できるよう、3つのテーマをグループで順番に話し合う予定です。

## ◎申し込み方法

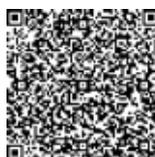
大仙市公式LINEからお申し込みください(事前に友だち登録が必要です)。

※LINEでのお申し込みができない場合は、議会事務局(TEL 63-1111(内線303))へお問い合わせください。

**定 員 15名(先着順)**

ワールドカフェ方式は、少人数が理想的とされているので、定員15名の先着順とさせていただきます。

**申し込み開始 5月7日(水) 午前9時00分**



市公式LINE  
申し込みフォーム

6月21日の市政懇談会(ワールドカフェ方式)のお申し込みはこちらから

※その他の日時に開催される市政懇談会は、申し込み不要で参加できます。

# ● 第1回定例会 議案審議 ●

## 大仙市の こんなことが決まりました

第1回定例会 会期23日間 2月20日～3月14日



令和7年  
第1回定例会

### 第1回定例会

専決処分報告	1件
人事案	3件
条例案	16件
単行案	7件
補正予算案	12件
当初予算案	19件
陳情	2件

※議会用語解説はこちらから



今号では  
この中から  
3つを **Pick up**

全ての議案名と審議結果は、大仙市議会ホームページをご覧ください。



議案の審議結果

〈議案第36号〉 令和7年度大仙市一般会計予算

### Pick up 1

## 屋内遊び場施設を 神岡中央公園内に整備

天候や季節に左右されず、一年を通じて子どもが安全に体を動かして遊べる屋内遊び場施設を新たに整備します。令和7年度は、旧神岡B&G海洋センターを解体し、建設のための基本設計を実施します。

### こんな質問が出ました

**Q** この屋内遊び場に対する期待は大きく、地元の方々からも「いつできるか」という声が聞かれる。これから着々と進めていくことと思うが、PRはどのような形で行うか。

**A** 今回の発注方式は設計、建設、運営・維持管理を一括で行うDBO方式としており、PRや事前の準備についても民間事業者から提案を受けるなどノウハウを活用していく。オー

ンは令和9年12月を予定している。



Pick up **2**

## クマ被害防止対策として、 誘引樹木伐採や電気柵設置に 要する費用を助成

クマなどの鳥獣被害への対策のため、誘引樹木伐採や電気柵設置に要する費用を助成するほか、ICT等最新技術の導入による被害対策を実施します。

### こんな質問が出ました

**Q** クマ対策について、昨年度ICT機器を導入した実績結果と、新規購入予定台数は何台か。また、誘引樹木伐採事業補助金の実績見込みについて伺う。

**A** 実績結果は、各エリアに応じた回線を使用した鳥獣捕獲検知システム（わなべル）をわなの設置箇所へ設置し、センサー感知が機能することを確認した。令和7年度の新規購入予定台数は13台を予定し、令和6年度の誘引樹木伐採事業

補助金は、62件の実績を見込んでいる。



クマなどの侵入から果樹を守るための電気柵

Pick up **3**

## 持続可能な強い農業の普及推進

地域資源を最大限に生かし、農業所得向上を目指す「農業と食」構想の実現・推進に向け、スマート農業の推進に重点を置いた機械施設整備・導入支援・普及事業の実施と、世界に向けて大仙市の「米と酒」を発信するためのPR販売活動事業の充実を図ります。

### こんな質問が出ました

**Q** スマート農業を推進する中でドローンを活用した直播栽培ちゅうくはを実施しているが、その実績や単収について伺う。直播技術がなかなか普及しない中、別の部分でスマート農業の普及を考える時期に來ていると思うがいかがか。

**A** 直播栽培における雑草対策は重要であることから、ヒエに対する分析を県立大の先生や農研機構、京

都大学からしていただき、効果的な除草剤を用いたところ、その雑草対策の成果は大きく、令和6年産においては移植栽培並みの収量となった。ドローンが普及し、防除だけでなく、ドローンのマルチユースによる省力化という観点から、研究してまいりたい。

# 議案・予算質疑

本会議4日目の議案質疑および予算質疑では2名の議員が質疑を行いました。主な質疑の内容を紹介します。

佐藤 文子 議員 (日本共産党)



## 議案第8号

### 大仙市一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について

**Q** 配偶者に係る扶養手当について、令和8年度の全廃に向け、支給対象職員数と、その影響額について伺う。

**A** 配偶者に係る扶養手当の改定により影響を受ける職員数は、2月1日現在で88名であり、現在月額6500円、年間7万8千円を支給しているものが、令和7年度は経過措置として年間で3万6千円に減額となり、令和8年度は廃止となる。全ての会計における支給総額は、現行制度では686万4千円であるものが、令和7年度は369万6千円減の316万8千円、令和8年度は廃止となる。

安達 成年 議員 (大地の会)



## 議案第36号

### 令和7年度大仙市一般会計予算 インフルエンザ予防接種およびおたふく かぜ予防接種費用の助成費について

**Q** 接種費用の助成額について、「子育て支援制度等検討会議」でどのような協議があったのか。

**A** 「令和6年度第3回子育て支援制度等検討会議」において、令和7年度における助成の在り方について協議し、県内自治体の助成状況に比べて、本市の助成額は決して低くなく、助成対象年齢についても相当であることや、インフルエンザ予防接種およびおたふくかぜ予防接種とも予防接種法上の定期接種と異なり、任意の予防接種で、接種の判断はあくまで個人に任せられていることなどから、今後にも必要に応じて助成内容の見直し・検討を図ることと了解を得たため、助成額は据え置きとした。今後も、さまざまな視点で引き続き検討していく。

## 議案第36号

### 令和7年度大仙市一般会計予算 観光PRイベント事業費について

**Q** 観光PR活動におけるマーケティングについて伺う。

**A** 本市の強みである地酒や食、祭りなどにスポットを当て、ターゲットを絞り込みながらPR活動を行っている。県内最多の酒蔵を有する本市ならではの新たな試みとして、令和6年度に「日本酒をとめた首都圏プロモーション事業」を実施し、首都圏秋田県人会と連携し、本市の日本酒と大仙市の魅力を広めていただいたほか、インフルエンサーによるSNSを通じたPRを行った。また、日本酒の「伝統的酒造り」が昨年12月にユネスコ無形文化遺産に登録され、国内外から日本酒への関心が高まっていることから令和7年度も継続し、新たに「だいせん田園 HALF マラソン」や「大台スキー場ゲレンデラン」とのタイアップイベントも行う。

令和7年度会計別当初予算

(単位:千円)

会計名		令和6年度当初予算額(A)	令和7年度当初予算額(B)	比較(B)-(A)	
一般会計		46,407,800	45,086,000	-1,321,800	
特別会計	国民健康保険事業	8,525,059	7,792,658	-732,401	
	後期高齢者医療	1,139,140	1,193,381	54,241	
	学校給食事業	1,153,699	1,159,307	5,608	
	奨学資金	21,175	24,316	3,141	
	企業団地整備事業	393,121	18,620	-374,501	
	スキー場事業	41,737	48,486	6,749	
	太陽光発電事業	136,267	137,276	1,009	
	小水力発電事業	2,000	2,000	0	
	財産区(6地区)	7,826	10,004	2,178	
	企業会計	市立大曲病院事業	収益的支出	979,141	998,372
資本的支出			160,590	154,284	-6,306
上水道事業		収益的支出	828,886	834,972	6,086
		資本的支出	540,745	406,260	-134,485
簡易水道事業		収益的支出	1,127,267	1,119,295	-7,972
		資本的支出	884,856	935,058	50,202
下水道事業		収益的支出	2,815,268	2,789,886	-25,382
		資本的支出	2,414,152	2,398,561	-15,591
一般会計+特別会計+企業会計 (収益的支出・資本的支出)		67,578,729	65,108,736	-2,469,993	

討論

第1回定例会で討論された内容を紹介します。

議案第36号「令和7年度大仙市一般会計予算」に対し、次のような意見がありました。

反対討論

佐藤 文子 議員(日本共産党)  
 本予算は、マイナンバー関連経費とともに、多額の基幹業務システム標準化移行経費が計上されているほか、市税等の滞納繰越分の収納率向上のための、電話催告による初期対応業務を民間業者に委託する経費が盛り込まれている。これは、市民のプライバシー権の侵害につながる問題であり認められない。また、議案第8号、大仙市一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定に伴う、配偶者扶養手当の廃止を前提とした職員人件費が含まれていることから、反対するものである。

賛成討論

安達 成年 議員(大地の会)  
 大仙市の人口一人当たりで換算した60万円の予算規模は妥当で、一般会計における市債の状況と一人当たりの借金も同程度の金額であり、バランスが取れた編成となっている。また、年々着実に減少している市債については、一定の評価をしている。  
 特に、骨格予算としながらも、六つの重点施策には、次世代に向けた積極的な予算配分も見られ、市が目指す「地域のすみずみまで元気なまち」の実現に向けた、意気込みが感じられる予算で、それぞれの常任委員会がしっかり審査して可決すべきものとしており、賛成するものである。

令和7年第1回定例会 賛否一覧

議案等名	議決結果	大地の会						だいせんの会					新政会			公明党		市民クラブ		日本共産党						
		鎌田 正	金谷 道男	大山 利吉	佐藤 育男	後藤 健	山谷 喜元	安達 成年	青柳 友哉	高橋 敏英	佐藤 芳雄	古谷 武美	石塚 誠	橋村 誠	高橋 徳久	戸嶋貴美子	渡邊 秀俊	小松 栄治	小笠原昌作	橋本 琢史	本間 輝男	秩父 博樹	挽野 利恵	佐藤 隆盛	佐藤 文子	
議案第8号 大仙市一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	
議案第36号 令和7年度大仙市一般会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
陳情第52号 オーガニックビレッジ宣言に名乗りを挙げる陳情書	不採択	●	●	●	●	●	●	●	●	●	議長	●	●	○	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	

賛成者は○、反対者は●、欠席者は「欠」とします。議長は採決に加わりません。

聞いてみたいな

こんなこと



# 一般質問

## 一般質問とは？

皆さんの生活に関わる大切な内容について、市議会議員が市に対して質問を行います。今回の一般質問であなたの生活に関する内容はありますか？

質問議員9人 質問項目15件

一般質問の全ての内容を動画で視聴できます。各議員顔写真の下にあるQRコードを読み取り、ご覧ください。

## 「大曲の花火」 観覧席割引支援について



佐藤 隆盛  
(市民クラブ)



**Q** 物価高騰によるチケット値上がりへの対応として、市民向けに4人掛けテーブル席等の割引チケットを先行販売することだが販売数・割引額について伺う。

**A** 料金変更となる4種類の販売価格の一部を市が負担する。4人掛けのテーブル席が2千円の値上げとなることから、観覧者一人当たり500円を割り引く。過去の実績から2500人分、125万円の予算を計上。申し込み受け付けは、ゴールデンウィーク明けからインターネットと往復はがきで行う。

の設置、翌日の清掃など近隣住民への影響を軽減させる取り組みを行っている。また、観覧会場側、打ち上げ会場側それぞれの町内会等に毎年協力を金をお渡ししている。今後もご意見・ご要望に耳を傾け、真摯に対応してまいります。

この他、地域振興事業について質問しました。

**Q** 「大曲の花火」に協力している会場近隣の町内会や住民に対しても、観覧席割引などの支援を行うべきと考えるがいかがか。

**A** 「大曲の花火」実行委員会では、ごみ箱、仮設トイレ



## 住民の行政参加について 職員の能力開発について



佐藤 芳雄  
(だいせんの会)



**Q** 住民の自治意識を向上させるため、行政の一部に住民の参加を求める、または自発的に参加するよう啓蒙することは考えられないか。住民の行政参加について基本的な考えと方策はあるか伺う。

**A** 地域の持続可能性を高めていくためには、地域のあらゆる主体が、果たしうる責任と適切な分担により相互に補完し合うことが不可欠であり、住民自治の重要性が増している。地域の自主的、かつ主体的な活動を支援し、地域づくりの意義に対する理解の促進と参画意識の醸成を図っていく。

**Q** 市職員が自発的に行う能力開発研修等に何らかの支援を行うなど、職員の能力向上のための施策について考えを伺う。



**A** 職場のみでは得ることのできない専門的な知識や技能の習得のための研修機会の確保、また自らの意欲に基づく自主研修の促進については「修学部分休業制度」や「自己啓発等休業制度」などのほか、一定の要件の下、自主研修費用の一部を助成する制度を設けている。

## 大規模災害への備えの 強化について



秩父 博樹  
(公明党)



**Q** 大規模災害が発生した際には、TKB（トイレ、キッチン、ベッド）の迅速配備や、スフィア基準を踏まえた避難所環境を整えることができるよう、地域防災計画をアップデートしておくべきと考えるがどうか。

**A** 能登半島地震を踏まえ、内閣府より避難生活における環境改善に向けた指針が示され、大きな転換期を迎えている。避難所における良好な生活環境を整えることは、避難者の健康維持につながることから、避難所環境の充実が最重要課題であると認識している。

これまで、段ボールベッドの整備やトイレトレーラーの整備などを進めてきており、引き続き備蓄に努めるとともに、温かい食事の提供についても、キッチンカー協会との協力体制に



ついて検討していく。また、スフィア基準に基づく居住スペースを確保するため、さらなる避難所の確保に努めていく。以上の内容を地域防災計画に反映することは当然必要なことと認識しており、アップデートしていきたいと考えている。

## 地方創生による地域の賑わいづくりについて



橋本 琢史  
(新政会)



**Q** 市内各地域にはまだ活用されていない観光資源がある。四季折々の魅力の発信や観光ロードマップを作成して、大仙市全体に足を運んでもらうことが重要と考えるがいかがか。

**A** 文化観光プレミアムツアーを実施し参加者から高い評価を得た。今回の取り組みを検証し8地域が有する「魅力」を活用した本市らしいツアーリズムを企画し、市全体に足を運んでもらえる仕組みづくりを進めていく。

**Q** 地元企業への支援、チャレンジしたい若者への支援、新たな企業立地の推進等が重要課題と思うが、これから取り組む支援策と企業団地への誘致状況を伺う。

**A** インターンシップや中高生向けの説明会など、地元企業を知り、関心を高める機

会を創出する。独自イベントで地域と積極的に交流している企業もあり、情報発信面で支援していく。  
誘致状況については1月に情報関連の企業と立地協定を締結。大曲企業団地は9区画のうち3区画が引き渡し済み、残る区画についても市内外の企業から問い合わせなどを受けている。



## 芸術文化交流施設およびイベント広場について



戸嶋 貴美子  
(だいせんの会)



**Q** 新たな芸術文化施設を整備する可能性について伺う。歴史や文化を保存・発信する文化財施設や、市民が創作した研究成果を発表できる場が不足し、旧8市町村を見ても中途半端な展示スペースとなっている現状である。

**A** 単独施設での新設は、今後の人口推計や財政状況を踏まえると、現段階では非常に困難であると捉えている。

**Q** 施設の新設が難しい場合、既存施設の改修や活用による対応は検討できるか。

**A** 今後、学校を含む公共施設の統廃合などに伴い、廃止となる施設の増加が予想されることから、施設の状態や目的に見合う機能の整備にかかる経費など、さまざまな条件をクリアすることができれば既存施設の利活

用は可能と考えている。今後の公共施設の在り方については、持続可能な自治体経営を目指し民間活力を導入した手法を検討するとともに、社会教育機能を有した複合施設の整備も視野に入れ、その方向性について協議していく。



## 公共施設の管理について



金谷 道男  
(大地の会)



**Q** 指定管理者制度を導入している施設の数と、公共施設で指定管理者制度を活用できる可能性がある施設はどのくらいあるのか。

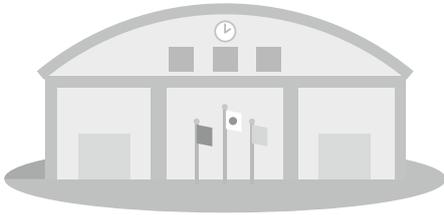
**A** 現在は60施設に指定管理者制度を導入している。新たに活用を見込める施設としては、温泉施設、スポーツ施設などの6施設と考えている。

**Q** 指定管理者の評価は、どのような方法で行っているのか。

**A** 施設所管課の職員による評価で、年2回実施している。住民サービスの向上を重視し「利用者満足度」に高い配点としている。

**Q** 指定管理者制度の課題は何か。

**A** 市で算出した指定管理料がネックと推察されるケースもある。元となる基準費用の積算方法が課題のひとつ。



つ。また、自主事業で得られる収益の取り扱いを含め、積極的に実施できる仕組みづくりも課題である。

**Q** 公共施設の管理方針や方向性について伺う。

**A** 指定管理者制度以外の手法の導入も可能であることから、施設の設置目的に鑑み、その都度、導入する手法を吟味し、住民サービスの向上に取り組んでいく。

## 合葬墓について



畠野 利恵  
(公明党)



**Q** 合葬墓のアンケート調査からは賛成の声が多いようだが、アンケート調査以外で市民の声が市に届いているか。

**A** これまでも市営合葬墓の整備を望む声が多く寄せられていたが、コロナ禍が落ち着いた令和5年春頃より、同様の相談が急激に増加している。検討に当たっては、窓口等での直接の市民の声はもとより、寺院や関係者の貴重なご意見をいただき、整備に向けた検討を進めてきた。

**Q** 跡継ぎがいらない方や墓じまいを考えている方などのニーズに 대응するため、いち早く市営合葬墓の整備を行うべきと考えるが、その見解を伺う。

**A** 社会情勢や価値観の変化により、お墓に対する意識やニーズが多様化していることに加え、承継者不在で将来的に放置されて墓石が危険を及ぼすといった問題も危惧される。納骨せず遺骨を自宅などに保管している方など、市営合葬墓の整備を望む多くの方々の気持ちに添えてまいりたい。先進自治体の運用事例を参考に事業化を進め、準備が整い次第、早期に実施していく。

この他、こころの相談について質問しました。



## 介護保険制度をめぐる 問題点と 介護労働者育成について



佐藤 文子  
(日本共産党)



**Q** 人手不足の最大の原因となっている全産業平均より5万円から7万円低い賃金を引き上げるよう支援を検討できないか。

**A** 国の支援策として、介護職員一人当たり平均5万4千円に相当する額を介護サービス事業所に交付する。支援制度の在り方については、介護保険事業所ならびに広域市町村圏組合の構成市町における協議事項と捉えている。

**Q** 介護報酬の引き下げで一層厳しい経営を強いられている訪問介護支援事業所に維持費等支援金を給付することを検討できないか。

**A** こちらについても介護保険制度の枠組みの中で検討されるものと認識しており、市としては実施する考えはない。



**Q** 介護職に希望を持ち、安心して働ける職場環境を整えるとともに、養成施設の学費無償化などで若い介護労働者の担い手育成に踏み出す考えはないか。

**A** 介護初任者研修ならびに介護実務者研修の受講者に対して、資格取得に要した経費の2分の1(上限10万円)を補助し、人材育成と定着の支援に努めている。

この他、あきたこまちRについて質問しました。

## 部活動の地域移行について



本間 輝男  
(新国会)



**Q** 推進計画の進捗状況と協議委員会の構成について伺う。

**A** 「大仙市部活動地域移行ビジョン」を策定し、休日における部活動の地域移行を推進している。推進本部として、スポーツや文化関係団体、校長会、部活動関係団体、PTA連合会等の代表者で構成されている。

**Q** コーディネーターの配置等、具体的な対策およびその方向性は。

**A** 2名配置し中学校や各地域の状況を把握し、受け入れ団体の発掘を進めている。また、休日に部活動を指導する部活動指導員を10名配置している。

し、継続して従事できる指導者の確保に努める。

**Q** 施設や部員数の減少に伴う課題等への取り組みは。

**A** 施設の統廃合等については、利用状況を把握し、利用者への声に配慮する。部員数に関しては、継続的に単独チームとして大会等に出席できる体制を整えることが求められており、部活動の地域移行はその解決策の一つと捉えている。

この他、令和7年度予算編成、幼保統廃合計画について質問しました。

**Q** 指導者の確保、育成および地位的な保障についての基本姿勢について伺う。

**A** 部活動指導員は、市の会計年度任用職員の身分を有



## 議会運営委員会行政視察報告

大阪府堺市議会の議会改革について研修。私が注目したのは、議会のICT化の推進に伴う整備の中で、聴覚障害者の情報保障を行うことを目的とした「AI即時反訳システム」を導入していることでした。これは本会議場（堺市では委員会室でも実施）の発言内容をリアルタイムで字幕表示するもので、傍聴席にあるモニター（堺市では2カ所）に即時反訳を表示していました。伺ったところ、導入したのは「UDトーク」というシステムで、コストは想像以上に安価でした。

課題としては、①AI即時反訳における発言を文字に変換する精度は、完全に正確なものではないこと（事務局で確認・修正を行っている）。②クラウド上で音声を変換するため、通信環境に左右され通信がうまくいかないことがあること。③配信映像の字幕表示については、具体的な検討に至っていないこと等があるようでした。

兵庫県加西市議会の議会改革についても研修しましたが、紙幅の都合で割愛します。

（議会運営委員会 委員長 秩父 博樹）



議会のICT化等を研修



堺市本会議場

## 大仙市のこんな取り組みが学ばれています

全国各地の議員の方々が、大仙市で取り組む施策について視察に訪れています。担当職員による説明や、活発な質疑とともに大仙市の取り組みをPRしています。

注目されている大仙市の視察項目は「小中学校における学力向上の取り組みについて」「大曲の花火」大会に関連することについて「農業振興」や「病院の経営状況」について視察されています。

## 令和6年度下半期 全国からの行政視察受け入れ状況

No.	月日	市町村名	人数	視察項目
1	10月2日(水)	広島県府中市	7	①地域医療・精神医療施策について ②病院の経営状況について
2	10月8日(火)	兵庫県加古川市	12	①親と子の夢を育む読書活動の推進について ②大曲花火大会について
3	10月10日(木)	鹿児島県阿久根市	8	①災害への備えについて ②災害発生時の状況等について ③災害対応の課題等について ④災害の復旧等状況について
4	10月11日(金)	愛知県豊川市	20	花火伝統文化継承資料館「はなび・アム」について
5	10月30日(水)	宮城県石巻市	3	小中学校における学力向上の取り組みについて
6	11月1日(金)	群馬県高崎市	18	①小中学校における学力向上の取り組みについて ②大曲花火における民間の取り組みについて
7	11月7日(木)	埼玉県東松山市	9	①学力向上の取り組みについて ②ICTを活用した教育について
8	11月7日(木)	徳島県三好市	7	大仙市豊かな森づくり振興プランについて
9	11月13日(水)	栃木県栃木市	6	大仙市農業振興情報センターの取り組みについて
10	1月14日(火)	宮城県塩竈市	7	①学力向上の取り組みについて ②小・中連携教育の取り組みについて
11	1月21日(火)	岩手県山田町	18	小中学生の学力向上の取り組みについて

## きかせて！あなたのミライ

大仙市の小学生が将来の夢を語るコーナーです。



すずき ひいろ  
**鈴木 日彩** さん (東大曲小学校5年)

■私はバドミントンのスポーツ少年団に入っています。最近の練習では、後ろで打つためのフットワークをがんばっています。次は、東北大会のベスト4に入ることを目標にしています。

■小さいころから物を作るのが好きで、図工では絵を描いたり木を切ったりするのが好きです。頭の中で想像をふくらませたり、完成をイメージしながら作ったりするのが楽しいです。■将来は大工さんになりたいです。物作りが好きなのを生かせると思ったし、大工さんが家を建てているところを見てこんな大きな物をつくれるのがかっこいいと思ったからです。大工さんになったら住む人が気に入るような家を建てたいです。■私は、人の区別をしない大人になりたいです。どんな人にも優しく接して、友達を増やしていきたいです。

### 6月定例会

日	月	火	水	木	金	土
5/25	26	27	28	29 本会議 議案等上程	30	31
6/1	2	3	4	5	6	7
8	9 本会議 一般質問	10 本会議 一般質問等	11 各常任委員会 議案審査等	12 各常任委員会 議案審査等	13	14
15	16	17	18	19 本会議 委員長報告等	20	21

※定例会日程は変更される場合があります。  
変更内容は、議会ホームページでお知らせします。



### 市議会だよりのご感想などをお寄せください

市議会だよりのご感想や大仙市議会に対するご意見、ご要望などを次の方法により、議会事務局へお寄せください。

- ①郵送 ・宛先：〒014-8601 大仙市大曲花園町1番1号  
大仙市議会事務局あて
- ②FAX ・番号：0187-62-8822 (議会事務局専用)
- ③メール ・アドレス：gikai@city.daisen.lg.jp

こちらのQRコードからメールを作成いただけます。



### 議会の傍聴について

本会議および委員会は公開されており、傍聴することができます。傍聴をご希望の方は、議会開会日に、大仙市役所大曲庁舎3階、議会事務局窓口までお越しください。

### 請願・陳情について

6月定例会で審査される請願・陳情は、5月19日(月)までに提出されたもので、それ以降に提出されたものは、次の定例会での審査となります。

## 編集 後記

委員

戸嶋貴美子

■大仙市は令和7年3月22日に誕生から20周年の大きな節目を迎えました。「このまちとみんなの未来に 華よ咲け」—「大仙市が『大曲の花火』のように大成し、これからの時代を担う若者が花火のように一人一人咲き誇ることができるよう」と大曲高校3年生だった齊藤凜さんが願いを込めたキャッチフレーズです。本市は、さらなる飛躍に向け、大きな一歩を踏みだしました。■さて、戦後80年近くの歩みの中で日本は大きく変わり、私たち日本人の価値観が変化しました。それに伴い、人々のライフスタイルの多様化や地域力、家族の在り方も大きく変化しました。■女性の社会進出も推奨され、日本は世界に類をみない超少子高齢化社会に突入することは、当然起こり得る問題であったとも言えます。さらに物価高騰が長期化する一方、実質賃金は上がらず、暮らしの大変さは増すばかりです。「公」が果たす役割が問われ続けていくことが求められています。4年に一度の審判を市民の皆さんにいただき、「今と将来に責任ある市政」となるよう全力で活動してまいります。

FacebookとInstagramで議会の情報を発信しています



Facebook



Instagram